

令和4年度 磐田市魅力産業支援会議 内容及び会議録

1 日 時 令和5年1月17日（火） 15時00分～16時50分

2 場 所 ワークピア磐田 1階 第1会議室

3 出席者 磐田市魅力産業支援会議委員 9名
事務局（産業政策課、経済観光課）

4 内容

- (1) 開会
- (2) あいさつ
- (3) 出席者紹介
- (4) 議題 磐田市経済産業振興プランのローリングについて
- (5) その他
- (6) 閉会

5 意見等

基本目標1：今を革新し、新たな価値を生む

市内産業の競争力強化と経営革新の促進

- 委員・実績で3点説明していただいたが、成果や評価がよく分からなかったので、補足して教えていただきたい。
- 事務局・市内の事業者の中でも、人手不足が常態化している中でロボットの導入を検討されている企業が出てきている。そのような動きを捉え、浜松商工会議所と共催で協働ロボット活用の推進のため、「ハマロボ展」を開催した。市内からはロボットに興味のあるまたロボットを既に導入している企業が5社参加した。企業の方もたくさんお見えになり、情報交換や打合せを実施した。ロボットの活用をもう少し促進できればと評価している。
- ・販路開拓を市内だけではなく、首都圏や海外などの広いエリアでECサイトを使いながら売っていきたいという市内事業者が少しずつ出てきている。「Made in IWATA 展」は市内の事業者3社を公募で集めて、自社開発した一般消費者向けの商品を展示し、QRコードを使ったECサイトで購入できるように展開した。売れた件数はそれほど多くなかったが、市の施設や目に触れるところを活用しながら、市内事業者のPRや販路開拓に取り組んでいきたい。
 - ・産業振興フェアでカーボンニュートラルのセミナーを開催した。カーボンニュートラルの取組は見える化や現状把握をまずしなくてはいけないので、県でも専門家の派遣や相談窓口を設置するなど支援体制が充実してきている。また、国や県でも、カーボンニュートラルを踏まえた設備投資に対する補助

金もだんだん増えてきている。市としてはまず専門家派遣によって、現状の把握を支援して、設備投資をする場合には、国や県の補助制度をうまく利用してもらえよう進めていきたい。

委員・円安の影響は出ているか。

事務局・円安の影響は少なからず出てきている。原材料費が上がるときには価格転嫁もある程度できるが、人件費や電気代、輸送費などの間接的な経費が上がっている部分に関しては価格転嫁がなかなかできないと聞いている。企業訪問した中でお伺いしている話では、現状との違いがあったりするので、自社の状況や重要なところがあれば、情報をいただきたい。

委員・製造業としては、材料費は見えやすいため、上がったら売価に反映しやすい。電気代やガス代が高騰している場合、商品ひとつに対して、電気代がどれくらいかかっているかという詳細が見える化しない限り、根拠がないという話になり、商品の価格に反映することが非常に難しい。私の会社なりにいろいろなことを考えているが、売りと買いの世界のため、その辺りは難しい。それぞれの企業の努力もあるが、違う角度から意見やアドバイスがあったらありがたい。

委員・エビの養殖について、いまどれくらい進んでいるのか。

事務局・昨年の11月から本格的に出荷が始まった。地域のスーパーでも流通が始まっている。エビの新たな産地といえるように販路開拓の支援としては県の魅力的な食品を紹介するサイトに掲載していただいたり、各卸売業者とマッチングをしたりしている。

- ・そのほかの取組として、いちごや磐田野菜を首都圏の青果店に出荷しているところもある。出荷先のイタリア料理店が冷凍したいちごに興味を示してくれた。大きくなりすぎて出荷できないいちごをSDGsの視点で有効活用するためにワインをつくった。来年度以降、さらにその取組を拡大していこうという話をいただいているので、都内に流通させるだけではなく、市内の店舗でも飲めるようにできたらと思っている。

基本目標2：新たなビジネスが価値を生む

新たな成長分野の展開と企業立地推進

委員・工業用地の開発について具体的にどこなのか教えていただけるとありがたいのであれば教えてほしい。

事務局・市内の2か所で民間の事業者が開発を進めているが、具体的な場所については公表を差し控えさせていただく形となっている。

委員・この分野に関して、我々ができるアドバイスはどのようなものを期待されているのか教えていただきたい。

事務局・工業用地の確保については、事業用地が足りないという話なので、委員からのアドバイスは難しいと思う。首都圏企業との連携に向けて、サテライトオフィスやコーディネーターの使い方などの視点からアドバイスをいただきたい。

- 委員・東京に人を置くことについて、どのような効果を狙っているのか。単にマッチングをするのであれば、もっと効率的にデジタルを使ってやることもあると思う。実際にやってみたことの話があれば、もう少しコメントがしやすいと感じる。
- 事務局・市の職員を東京に常駐させることは難しいので、委託になっている。今回、コーディネーターを置いた虎ノ門は霞が関などとも近い場所である。コーディネーターを置くことによって継続的に大手企業の新規事業開発担当者と話ができる機会を得られる。
- 委員・防潮堤の工事を早めるという話を聞いているので、この辺りをもう少しアピールすれば安心感があるということで企業誘致を進めていくといいと思う。
- ・交通手段がないため、働きたい地域に行くことができないという事例があった。朝晩の通勤の時間帯にバスが運行できたら、もっと人が集めやすくなると思う。
- 事務局・市の施工分の防潮堤の完成時期は令和8年度末を予定している。今年度末の進捗率は約40%である。進捗状況などの情報を企業向けにもう少し出していきたいと思っている。
- 委員・昨年8月から委託している首都圏連携コーディネーターから具体的にどのようなアドバイスがあったか。
- 事務局・約1,700の自治体がある中で磐田の強みが何なのかということが問われている。磐田の強みや特長をはっきりと出さないといけないというアドバイスを受けている。
- 委員・コワーキングスペースがわずかというところで、これのニーズはどうなのか。磐田にコワーキングスペースをつくるといってもイメージがわからない。
- ・スタートアップ企業への支援はどのようなものか。
- 事務局・コワーキングスペースのようなオフィスの誘致は、磐田の状況を踏まえるとなかなか苦戦しているというのが正直なところである。結果につながっていないので、取組の見直しをしなければいけないと考えている。
- ・スタートアップ企業への支援は、創業支援拠点の「はじまりのオフィス」の利用促進と開業に係る資金の利子の補給などを行っている。創業しようという方は増えていて、「はじまりのオフィス」の利用もだんだん増えている。若い方の中には企業に就職するのではなく、自分で事業を起こしたり、副業ができるようになったらやってみたいという機運が高まってきている。

基本目標3：新たなプレーヤーが価値を生む

創業促進とスタートアップ企業の育成

基本目標4：人財が新たな価値を生む

人材確保の支援と人材活用の促進

- 委員・今年度は高校の求人が非常に多くて、求人倍率が4倍を超えた。高校生の数が非常に減っているというのがその要因である。高校生がどんどん減ってきているので、高校生自体がそもそもいなくなってしまうという問題が結構大きいと

感じている。地元の高校生だけではなかなか確保できないので、東北や九州などの求人の少ない地域に訪問して、確保する必要があると思う。

- ・企業誘致をしたところに通勤手段や宿舎を確保などの環境の整備を一緒にやらないと従業員を集めるのは大変だと思う。旧竜洋地区の方だといまだに津波が怖いという理由で、海岸に近い企業への就職を希望しない人がいる。旧竜洋地区はバスの便も悪いので、公共交通機関の整備をしないと人材の確保は大変である。
 - ・首都圏連携コーディネーターは磐田の現状をどの程度把握しているのか。
- 事務局・コーディネーターのひとは磐田の出身である。コーディネーターとは定期的に打合せを実施し、市内事業者とも意見交換をしている。

基本目標5：人が集い、新たな価値を生む

人を呼び込む観光・商業の振興

- 委員・磐田に来てもらうだけではなく、お金を落としてもらうような施策が必要である。
- ・スポーツについての施策の説明がなかったが、今後も含めて何かあれば教えていただきたい。
- 事務局・ジュビロのアウェーゲームの開催地で軽トラ市を行い、磐田の魅力や産業をアピールした。市外の方にも磐田を知っていただき、磐田へ行ってみたいと思えるような事業を行い、関係人口の増加につなげていきたい。
- ・宿泊拠点とプロスポーツクラブと連携して、磐田に少しでも長く滞在してもらえるような観光振興ができればと考えている。
- 委員・体験型の観光とはどのようなものか。
- 事務局・竜洋昆虫自然観察公園やバイクの展示施設などを体験型の観光として発信していきたい。ふるさと納税の返礼品として、モノだけではなく磐田で体験してもらうものをふるさと納税の新しい返礼品として商品開発をしてみたい。
- 委員・大河ドラマの影響で浜松まで来る人は多いと思うが、磐田になにがあるのかと考えると、少し心配である。
- ・ラグビーのプロスポーツクラブの本社が今之浦公園近くにあるので、そこと連携して公園を使ったラグビー教室などができたら魅力的だと思う。
 - ・国分寺や桶ヶ谷沼をもう少しPRして、その活用を首都圏連携コーディネーターと相談することも必要である。
 - ・桶ヶ谷沼周辺は整備してもらえるとありがたい。

全体を通しての意見

- 委員・ひとつひとつはすばらしく、しっかり研究されて事業をやられていると感じる。テーマにある魅力産業創造都市ということ、楽しんでやりたいと思えるアイデアがもっと出てくるといいと思う。

委員・進捗管理シートについて、成果や課題をうまく表現した方が委員から意見が出やすくなり、会議の実効性が増すと思う。

最後に

委員・本日は、委員の皆様から様々な意見をいただいた。事務局は、本日の会議内容を参考にし、予算要求や計画の変更に活かしていただきたい。